

安楽寺だより 第36号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話：03-3451-1509 FAX：03-3798-2238

発行者：藤澤 克己（安楽寺住職） ホームページ：<http://www.anraku-ji.org/>

（安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します）

大変な時こそ「支え合い」の精神で

みなさま、無事にお過ごしでしょうか？

ここ数カ月だけでも、豪雨、猛暑、台風、地震とさまざまな自然の猛威に見舞われました。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。



「報恩講」のご案内

日時：**11月10日(土)** 午後1時～

お勤め：正信偈

ご法話：成田 善真 師

（横浜・善行寺住職）



- 昨年に引き続きお迎えする布教使さんです。親しみやすく分かり易いお話をしてくれますので、より多くの方と一緒に聴聞したいと思います。
- お斎（おとき・食事）の用意がありますので、お早めにいらして召し上がってください。

各地のボランティア活動の様子が報じられる中、山口県で3日間も行方不明だった2歳の男の子を無事救出した尾畠春夫さんおぼたはるおの活躍はうれしいニュースでした。「恩返しする気持ち」「明日は我が身だから」という発言にも頭が下がります。

今支えることの出来る人が、支えを必要とする人に手を差し伸べる、でも大変になったら無理をせず、今度は遠慮なく支えを求めるようにする——それが「支え合い」であり「お互いさま」の世界です。大変な時こそ、ぜひ実践したいものです。

《あれこれ抄》

▼秋の「安楽寺だより」をお届けします。▼今年の夏は一体どれだけ暑くなるのだろうか、この暑さがいつまで続くのだろうかと不安になりました▼猛烈な台風と大きな地震の影響は甚大で、大自然の前に謙虚にならざるを得ません。▼築地市場が83年の長い歴史に終止符を打ち、豊洲市場がいよいよオープンします▼移転に伴いターレと呼ばれる小型の運搬車が2000台以上も一斉に移動する様子は圧巻でした▼築地市場跡がこれからどうなるのか注目です。▼今年のノーベル医学・生理学賞に本庶佑ほんじよたすく氏が選ばれました▼免疫療法という新しいガン治療の道筋を開いたそうです▼研究だけでなく、統率力があり、お人柄も魅力的な素晴らしい方とお見受けしました。

秋の彼岸会法要をお勤めしました

去る9月23日(秋分の日)午後1時から秋の彼岸会法要を執り行い、お参りの方と一緒に正信偈(しょうしんげ)を大きな声でお勤めしました。

お彼岸中は天候が不安定で雨の日もありましたが、多くの方がお墓参りに足を運んでくださり、きれいなお花がたくさん供えられた安楽寺墓地は一気に華やぎました。



お彼岸の安楽寺墓地(9月)

《季節の思い出》



「スズムシの集い」を開催したところ、多くのお子さんが集まってくれました。(8月)



見事なハスの花(8月)
[撮影:金子道也さん]

安楽寺墓地のススキ
(10月)



【知っていただきたいお経の言葉】

じっぼう しゅじょう
十方衆生

〔あらゆる世界にいる生きとし生けるもの
『仏説無量寿経』〕

「十方」とは四方(東・西・南・北)に、東南・東北・西南・西北を合わせた八方、さらに上・下を合わせた十方で「あらゆる世界」を意味し、「衆生」とはサンスクリット語(古代インド語)「サットバ」の訳語で「心を持つ者」「命ある者」を意味します。

『仏説無量寿経』というお経の中で阿弥陀さまは、救わずにおれないというお慈悲の心から私たち一人ひとりに「十方の衆生よ」と呼び掛けてくださり、ひとりも漏らさず必ず救うぞとお誓いくださっているのです。



「報恩講」とは

あらためて「報恩講」の意味を確認してみたいと思います。

「報恩講」とは真実のみ教えを明らかにしてくださった親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わわせていただく、浄土真宗の寺院・門信徒にとって、一年でもっとも大切なご法要のことです。恩に報いるつどい（講）だから「報恩講」といいます。

「報恩講」という名称は本願寺の第3代覚如上人（親鸞聖人のひ孫）が親鸞聖人の33回忌にあわせて『報恩講私記』という書物を著されたことに由来しています。

以来、700年を超える歴史の中で、先人たちが親鸞聖人のご命日法要を「報恩講」として脈々として受け継ぎ、今日まで大切にお勤めしてきました。



(安楽寺本堂・親鸞聖人のお厨子)

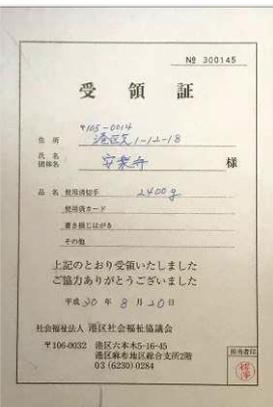
報恩講をお勤めする日はお寺によって決まっています。安楽寺の報恩講はご存知の通り毎年11月10日です。今年は土曜日ですので、普段は仕事でいらっしゃれない方にもお参りいただければと思います。

築地本願寺は毎年11月11日～16日、京都の西本願寺は毎年1月9日～16日に報恩講をお勤めしています。機会がありましたら、ぜひお参りください。

温かいご支援をありがとうございます

寺の玄関に入って右手に「使用済み切手」を入れる箱を常設しています。みなさんが持ち寄ってくださりたくさん集まりました（写真は一部）。先日、港区社会福祉協議会に持参しました。地域のボランティア推進事業のために使われるそうです。

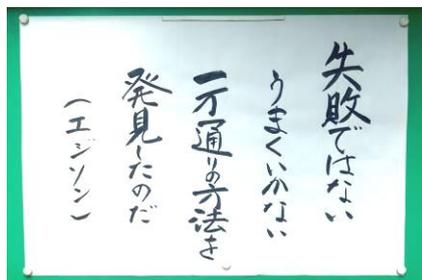
また、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害の義援金を募ったところ23,470円のご懇志が集まり、たすけあい運動募金として納めました。本願寺を通じて被災地に届けてもらいます。



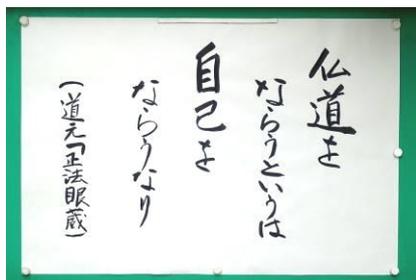
ご利用明細票			
お振込日	店番	取替番号	
30-08-2101181	A93130001		
取替種別	シカトイ		
振込口座	D1000-4	69957	
振込金額	*23,470	料金	*0
		振替受付票	
		払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。	
		料金は、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)	
入金額	*23,470		
おつり	*0		
はじめての投資信託をゆうちょが応援します！			
印紙税申告納付につき印刷料事務承認済			

月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

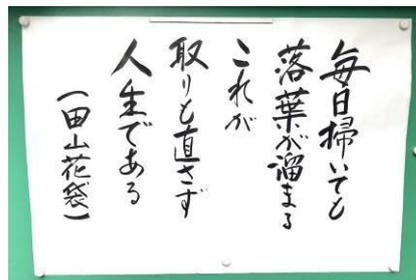
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(1か月毎)



2018年8月



2018年9月



2018年10月

《芝組研修会が開催されます》

今年度の企画として、芝組13カ寺が合同で研修会を開催することになりました。

日時：平成30年12月9日(日)
午後4時～6時
場所：光明寺(地下鉄神谷町駅から徒歩すぐ)
内容：仏教徒としての“終活”

“終活”(人生の終わりのための活動)として自らの人生の行く先を見つめることは大切です。ただ、エンディングノートと題して預貯金、保険、連絡先などを整理し、終末期医療や葬儀の対応を考えることが主となっていて、どちらかというとな事務的な側面が強調されているように思えます。

ご自身の生きてきた軌跡、受け継いでもらいたい大切な思いなどに焦点を当て記録に残すことが、死を意識しながらも生(今)を充実させることのできる仏教徒としての“終活”になるのではないのでしょうか。

参加ご希望の方、または関心のある方は住職までご連絡・お問合せください。

安楽寺総追悼法要のお知らせ

来たる12月23日(日・祝)の午後、この1年間にお亡くなりになった方々の合同追悼法要を行います。

安楽寺にご縁のある方々に声を掛けさせていただきます。

該当される方には11月中旬に改めてご通知いたします。



参加者募集
します!



「定例法話会」の今後の予定(毎月第3日曜日 午後2時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

10月21日(日) 11月18日(日) 12月16日(日)